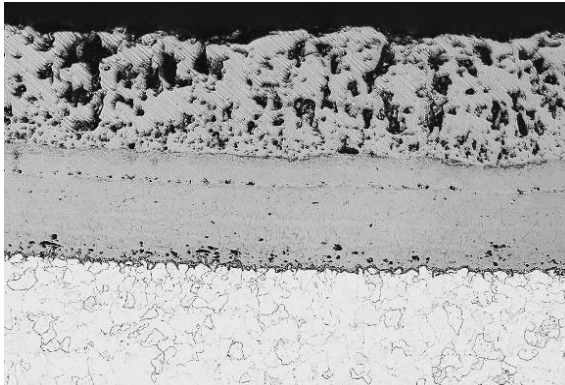
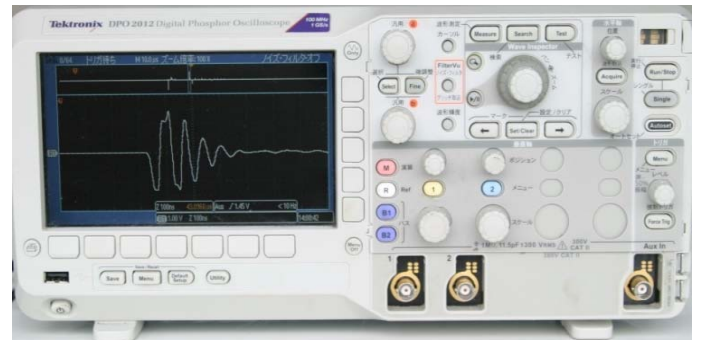


超音波探傷試験による ボイラーチューブ内面スケール厚さ測定



内面スケールの断面写真



オシロスコープ

ボイラーチューブ内面に付着するスケールが厚くなると熱交換率が低下するため、チューブの母材温度が上昇し、クリープ破断の原因となります。そのため、内面スケールの厚さを管理する必要があります。

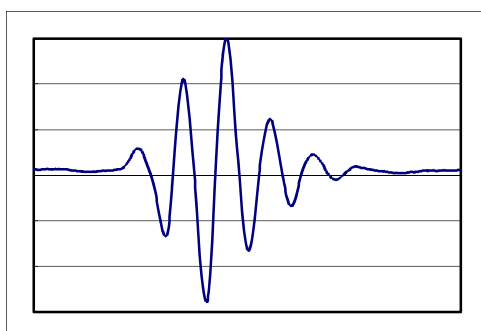
高周波の超音波を使用し、反射エコーをデジタルオシロスコープに取り込み、パソコンで演算処理をすることで、薄い範囲のスケール厚さ測定を可能としました。

特長

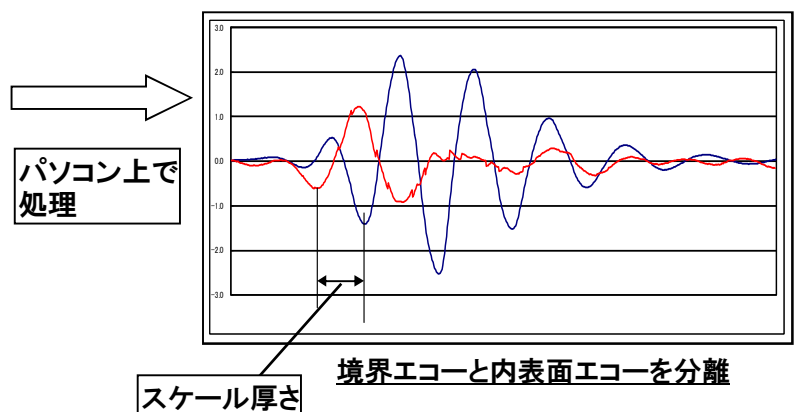
- 測定可能スケール厚さ: 50 μm 以上
- 精度: $\pm 20 \mu\text{m}$

適用

- ボイラーチューブの内面スケール



探傷波形



— : 内表面エコー
— : 境界エコー